

議員番号1 岡田快議員

【質】雪を利用した屋外スポーツの活性化について

長井市の冬季の観光客数が少ない。市民の健康の増進と雪への親しみを持たせるために、雪を使った屋外スポーツの1つである「スポーツ雪合戦」を実施してはいかがか。

【答】

東北地方や北海道などの降雪地帯において、冬場の誘客は大きな課題です。観光資源として雪を活かした取り組みが全国で工夫され、本市でも雪灯り回廊やひな回廊の開催、スノートレッキング体験ツアーなどの旅行商品が企画されております。ご提案のとおり、スポーツ雪合戦は全国的に注目されているので、これらのイベントと組み合わせれば、より魅力的な観光資源になるものと考えます。観光客の皆さんと市民の皆さんの交流がきっかけとなり、まちの賑わいに繋がるものと期待しております。

議員番号2 菅野 祐未議員

【質】長井市が目指すまちの姿「みんなで創る幸せに暮らせるまち 長井」を多くの市民が共有するための工夫について

市の方針として取り組んでいる具体的なことについて、市民にはあまり周知できていないと感じる。おらんだラジオで放送してもらうことや、市報やホームページ作成に学生が携わってはいかがか。

【答】

市民の皆さんへの周知は進んでいないのが現状です。今後どのように周知するか検討していくとともに、市長が市内中学校に赴き、長井市のまちづくりや取り組みについて講話することも検討しています。学生がホームページの作成に携わるのは難しいですが、ホームページの中に中高生や社会人になっていない人の意見コーナーを作り、自由に書き込み、見ることができるものを検討していきます。

議員番号3 佐藤 鉄心 議員

【質】企業・工場や大学の誘致について

人口減少を止めるためには働く場所が必要であると感じる。住環境の整備や、水・森林など自然の豊かさを活用した事業を行うことで、企業・工場や大学の誘致を行ってはいかがか。

【答】

住まいは重要な要素ですが、働く場や仕事も大事です。農業をしながら自宅でテレワークする、といったライフスタイルを選択する人も増えてきています。市ではそういったライフスタイルに合わせた空き家の紹介を行うため、空き家データベースを作りました。自然を生かした企業誘致をすることは大切です。市には純粋な水、病院などで使う医療用の水の製造などの優秀な企業があります。こうした、研究・開発型の企業の立地・誘致することも大切ですので、今後のまちづくりの参考にしていきます。

議員番号4・5 渡部晴也議員・佐藤未空議員

【質】タンザニアとの交流について

ホストタウン事業としてのタンザニアの理解を深めるために、タンザニアの人と交流したり、タンザニアを訪問した人の体験談や写真などを見せていただくことが大切だと感じる。オリンピックが開催されることを今年はどのような活動を行うのか。

【答】

オリンピックが開催される今年7月31日～8月2日の3日間、長井市内でホストタウンのイベントを行う予定です。南中、北中の皆さんには文教の杜付近で縁日のような場所を作り、だがしや楽校、あやめんごの活動発表をしたり、お互いの文化交流をしたりする場所を作りたいと思います。また、新市民文化会館にてホストタウンを中心としたそれぞれの国の紹介をするイベントや、外国の方と市民を交えた盆踊りなどを行い市民の方はもちろん、中学生や高校生にも積極的にかかわっていただけるようなものを作りたいと考えています。

【再質】 タンザニアとの交流について

国際交流を深める上でオリンピック終了後も交流を続けていくことが大切。タンザニアの子ども達を長井市に招待し、子ども同士で文化面での交流を行うなど、今後も交流を継続してはいかがか。

【答】

国際交流が進む中で佐藤議員の提言はとても重要なものであり、課題でもあります。長井市では現在、二つのことを考えています。長井市の ICT 教育、英語教育は県内でも充実しております。整備されている機器を使い、子ども同士のリアルタイムの交流を図りたいと考えています。また、タンザニアを訪問することやタンザニアの子供を招待しての交流活動も価値あるものですので、市長とも検討していきます。

議員番号6 佐藤 天城 議員

【質】 映画やテレビの撮影地としての活用について

長井市の経済の活性化のためには、県外からの観光客の増加が必要であると感じる。長井市を映画やアニメの舞台として使ってもらえるように、フィルムコミッションを設定し広報活動を行ってはいかがか。

【答】

フィルムコミッションを長井独自でという方法は、市の知名度も上がりますし、観光客も期待できると考えています。しかし、新たにフィルムコミッションを単独で組織するのは大変です。長井市を中心に南陽市・白鷹町・飯豊町で連携して作った地域の旅行会社である「やまがたアルカディア観光局」があり、営業活動を行っていますので、撮影の募集や売り込みも積極的に宣伝していきたいと思います。

議員番号7 今野 愛香 議員

【質】“起業しやすいまち長井”の推進について

近年は第4次ベンチャーブームであり、起業する人が増えている。長井市が起業しやすいまちにする取り組みを行うことによって長井市で起業する人が増え、起業する人の定住促進につながるのではないかと。

【答】

市では、小学生・中学生・高校生を対象とした「学校」という枠を超えての起業の学習はすでに始められており、地域づくり・キャリア教育につなぐ大切な学習としてとらえています。企業創業に関わる直接的な支援事業は、長井市起業・創業支援事業、長井ビジネスチャレンジコンテスト、製造業の企業立地促進の補助金があります。専門的知見を持つ方の相談会は、市職員や商工会議所の職員が常に個別で創業に関する相談の対応をしております。今後も、長井市が元気で活力ある都市となるよう、ホームページやSNSを通じた市内外への情報発信を進め、起業しやすい街を目指していきます。

議員番号8・9 小形 虎次郎 議員、佐藤 優真 議員

【質】魅力発信方法の改善について

若い世代の人口が減少している理由の一つとして、若者が自分の住む地域の素晴らしさに気づいていないということがあげられる。長井市の魅力の周知方法としてけん玉を自分で制作し、それを使った企画を実施してけん玉の魅力を発信してはどうか。

【答】

市では、けん玉広場「SPIKe(スパイク)」でのけん玉体験や道の駅「川のみなと長井」でのけん玉デコ体験などを行っております。ご提案いただいたマイけん玉づくりをきっかけとした大会は、近頃人気となっている体験型観光のニーズにもマッチしていると考えます。これまでも実施してきたけん玉ペインティングコンテストを一步進めるイベントとして、実現に向け協議したいと思っております。けん玉以外にも、長井市の新たな魅力の発掘・発見や磨き上げながら、地域の活性化につなげていきたいと考えております。

【再質】魅力発信方法の改善について

長井市を活性化させるためには、市民が地元の魅力を認知することに加え、その魅力をどのように情報発信していくかが重要。長井の魅力を発信する方法として、YouTube 広告を活用してはいかがか。

【答】

議員からご提案のありました YouTube 広告は、有効な情報発信ツールとして利用している民間企業も数多くあるのですが、撤退している企業もあります。視聴者数や時間枠に応じ、多額の費用を負担しなければならないことがあるため、取り組みには費用対効果も考え、慎重を期さなければなりません。YouTube は若い方が多く利用するツールであるため、まずは、今ある長井チャンネルやおらんだちゃんねるの魅力を高め、見ていただける人を一人でも多く増やすような動画づくりをしていきたいと思えます。

議員番号10 樋口 凱 議員

【質】「駅伝のまち・マラソンのまち長井」のPRについて

「駅伝のまち・マラソンのまち長井」としてのまちづくりを行う中で、現在の長井マラソンは市民に身近でないと感じる。長井マラソンの参加者に市内店舗の割引券の配布やツアーを行うこと、また小学生の参加を増やすなど、市民に身近な大会にはいかがか。

【答】

昨年の取り組みとして、長井マラソン参加者に、道の駅川のみなと長井で使える5%割引券を配布し、50数名の方に使っていただきました。市内の商店街でもできるか検討していきます。大会後の観光ツアーについて、「やまがたアルカディア観光局」に相談したところ、マラソン大会の日程に合わせたまち歩きツアーも旅行商品として検討しているので期待しています。長井マラソン大会への小学生の参加についてですが、2年前より、市民限定の3kmマラソンを実施しており、今後、小学生の参加者数を増やすため、コース沿いに長井産の食べ物を置くとか、参加記念品をプレゼントするとか、距離の再検討などたくさんの小学生が参加したくなる仕組みを検討していきます。

議員番号11番 齋藤 楓音（さいとう かのん）議員

【質】長井市内にあるカフェのPRについて

長井市内にはおしゃれでおいしいごはんやスイーツが食べられるお店が多いと感じる。SNSなどを通して、長井市内をPRし、長井の魅力発信につなげてはいかがか。

【答】

市の様々な情報発信は、長井市の公式FacebookやInstagram、YouTube、市のホームページを中心に行われています。皆さんがアップする情報に、「#長井市」と入れていただくと、「やまがたアルカディア観光局」のポータルサイト内に、自動的に情報が上がるようになっていきます。カフェの皆さんには、「#カフェ長井」のようなハッシュタグを作り、SNSへの情報掲載やインスタ映えするようなスイーツの作成と情報拡散を期待します。

議員番号12番 船木 遥子 議員

【質】交流人口を増やすための施策について

日本全体で人口減少が進む中で人口維持や人口減少を止めることは難しいが、交流人口を増やすことはできると思う。長井市の交流人口を増やすために、あやめ公園に植えである「シベリアアヤメ」をきっかけに、原産国であるロシアと新たに交流を行ってはいかがか。

【答】

あやめをきっかけとしてロシアと交流してみてもいかがか、というご提案につきましては、今後検討していきます。山形県内でロシアと交流を図っているのは酒田市であり、酒田市に紹介していただきながら交流することも必要だと思います。これからの様々な観光交流によって関係人口の増大につながるよう期待します。

議員番号13番 澤田 明喜 議員

【質】クラウドファンディングを利用した資金調達と広告の戦略について

行政が行うクラウドファンディングに注目が集まる中で、地域の活性化につながっている例は少ないと感じる。長井市の魅力につながる体験活動を返礼としたクラウドファンディングを行うことで、魅力の発信と関係人口の増加につながるのではないかと。

【答】

議員のご提言は、長井市にしかできない長井市の関係人口づくりであると思います。加えて、ライブという目的だけで長井市に集まる直接的なコミュニティだけでなく、リターンで提供する権利で発生するコミュニティもあるという視点は重要です。長井市とONでもOFFでもつながる関係人口作りは必要な取り組みになります。他の自治体に負けないように長井市も取り組むべきものであると思います。これからの長井市の様々な事業に活かしていきます。

少年議長 挨拶

中高生の私たちは自分たちが生活している「まち」について考える機会は少ないため、今回は長井市について理解を深めるとても良い機会になった。少年議会に向けて考えた「自分が目指すまち」に近づけられるように、私たちもできることから行動していくことが大切だと感じた。